文化財保存科学研究部会（2018）

久留米大学
文化財保存科学研究部会

▸お問合せ

- Home
- 活動
- 歴史
- 公開講座
- 筑後優品
- 産学連携

Contact

〒839-8502
福岡県久留米市御井町1635

お問い合わせはこちら

Link

久留米大学

はじめに

文化財保存科学研究部会の特色は、文化財保存を科学的に研究することと
筑後地域の伝統工芸を結びつけた点にあります。
開設時の2007年から、医学部教員も部会員に登録して共同研究を進めており、
文理融合の研究体制が自然に生まれていました。
研究活動のテーマは、大きく5つに分けられます。1～5のテーマは、さらに細分化されて発展してきました。

1．八女手漉き和紙研究

2．久留米絣・藍染め研究

3．クララ研究

4．クールジャパンの活動

5．九州国立博物館との連携

PAGE TOP

文化財保存科学研究部会の特色

- **文化財保存を科学的に研究することと筑後地域の伝統工芸を結びつける。**
- 開設時の2007年から、医学部教員も部会員に登録して共同研究を進めており、文医融合の研究体制

研究活動のテーマ

- クララ研究
- 八女手漉き和紙研究
- 久留米絣・藍染め研究
- クールジャパンの活動
- 九州国立博物館との連携

文化財保存科学研究部会（2018）

- イタリア事業
- 公開講座
- Webサイト構築
- KOUGEI EXPO
- 和紙の輸出

イタリア事業

5月15日　ローマのローマ日本文化会館

筑後の伝統工芸を紹介するワークショップ
・八女和紙の手漉きのデモンストレーション
・久留米絣の展示と解説
・筑後の伝統工芸品の展示と解説
・展示パネル解説（八女伝統工芸館伝統工芸パネル17点)
・DVD上映

八女和紙による文化財の修復や久留米絣の天然藍による防虫・防菌効果などの価値についてPR

5月16日から18日
フィレンツェの文化遺産・保存国際学会

八女手漉き和紙と久留米絣の動画放映、作品展示、解説

■団員リスト：団員名と役割　計７人

《大学教員》
狩野啓子　（団長、プロデューサー、講演者）
神本秀爾　（会場設営責任者、通訳）
大場はるか（会場設営補助、通訳）
矢野英子　（司会、通訳）

《伝統工芸実演者》
溝田俊和　（八女手漉き和紙）
松枝哲哉　（久留米絣）
松枝小夜子（久留米絣）

＊（左３人目）イバーノ・フランカヴィラ氏

イタリアでの２大行事の実現の要因

- １.国際交流基金の助成
- ２.支援者からの寄付
- ３.関係自治体（八女市・久留米市・うきは市）と久留米大学の支援協力
- ４.八女和紙、久留米絣それぞれの製作者が現地で実演することができた
- ５.ローマで八女和紙紙漉きの実演が可能になった（日本文化会館と秋山氏の協力）

L'ARTIGIANATO DEL CHIKUGO

CARTA E TESSUTI DAL GIAPPONE MERIDIONALE

MARTEDÌ
15 MAGGIO 2018
ORE 18.00

Istituto Giapponese di Cultura
via Antonio Gramsci 74 00197 Roma - tel 06 3224754
www.jfroma.it
INGRESSO LIBERO fino a esaurimento posti

久留米大学
KURUME UNIVERSITY

L'ARTIGIANATO DEL CHIKUGO

CARTA E TESSUTI DAL GIAPPONE MERIDIONALE

La Sezione di Ricerca e Conservazione dei Beni Culturali dell'Associazione di Letteratura dell'Università di Kurume è stata istituita nel 2007. La sede centrale è nata come organismo di ricerca interdisciplinare, usufruendo dei docenti di lettere e affiancandoli con quelli di economia e medicina. In seguito è sorta la collaborazione con l'Istituto agrario femminile di Yame, che ha fornito gli artigiani e le piante da utilizzare come materiale di ricerca.
Numerose attività, tra quelle svolte in questi dieci anni, si sono sviluppate in sinergia con diversi organismi e specialisti italiani, che hanno offerto uno scambio proficuo e continuativo.

Il **DVD** in proiezione, realizzato dal centro, presenta i documentari *La manifattura della sottilissima carta Yame washi* (21 minuti) e *Il colore si trasformò in un vivido indaco* (23 minuti), che illustrano i risultati raggiunti e il lavoro di rinomati artisti nel campo della **carta** e della **tessitura tradizionale**. Sottotitoli in italiano.

La **fabbricazione della carta** *Yame washi* è oggetto della **dimostrazione** a cura dell'artigiano locale Toshikazu Mizota, con il supporto di Nobushige Akiyama, mentre una **conferenza** a cura di Tetsuya e Sayoko Matsueda tratta il tema della **tessitura dei kimono**.

I pannelli in **mostra**, realizzati dal museo Yame traditional handcraft house e visionabili a partire dalle 17 circa, illustrano e spiegano, in lingua inglese, **la zona di Yame**.

prodotti artigianali di Chikugo

WORKSHOP

Roma, 15 Maggio
ore 18 presso
l'Istituto Giapponese
di Cultura

Via Antonio Gramsci, 74, 00197 Roma

Cari camici e colleghi,
il giorno 15 Maggio alle ore 18 all'Istituto Giapponese di Cultura in Roma, si terrà la mostra e work-shop dei prodotti artigianali di Chikugo. Il work-shop prevede uno presentazione del Kurume Kasuri di Matsueda Tetsuya (Patrimonio Culturale Immateriale Nazionale, Presidente dell'Istituto Tecnologico esperto della lavorazione del Kurume Kasuri) Matsueda Sayoko artigiana del Kurume Kassuri e una dimostrazione pratica della manifattura della carta Washi di Mizota Toshikazu artigiano della carta Yame Washi.
L'iniziativa è stata organizzata dalla Prof.ssa. Keiko Kano del Dipartimento di Letterature dell'Università di Kurume sezione di ricerca per la Conservazione dei Beni Culturali
Inoltre nei giorni 16,17 e 18 Maggio saremo presenti con uno stand (collocato nell'Auditorium Inferiore 9B) al Salone dell'Arte e del Restauro di Firenze.
Palazzo dei Congressi, Piazza Adua n° 1 Firenze
Vi aspettiamo numerosi!

ISTITUTO
GIAPPONESE
CULTURA
www.jfroma.it

signor Mizota, che possiede la sua bottega a Yanase, è stato chiesto di produrre
na carta da utilizzare nei restauri dei libri antichi, che fosse resistente e sottile
na che dovesse essere ottenuta senza l'uso di alcun agente chimico.

Water Mill Incer
(Senko)

International Conference

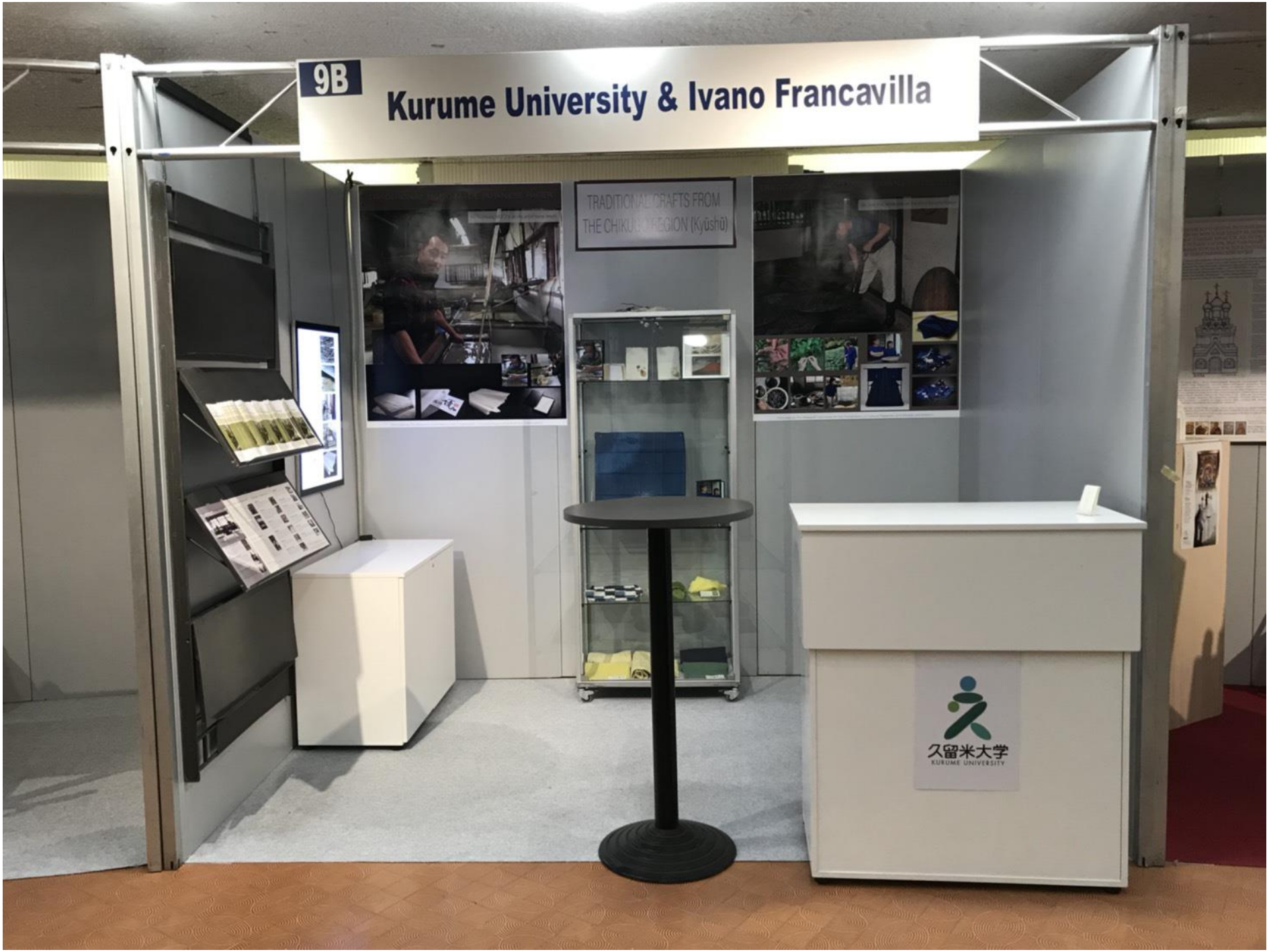
FLORENCE HERI-TECH™

The Future of Heritage Science and Technologies

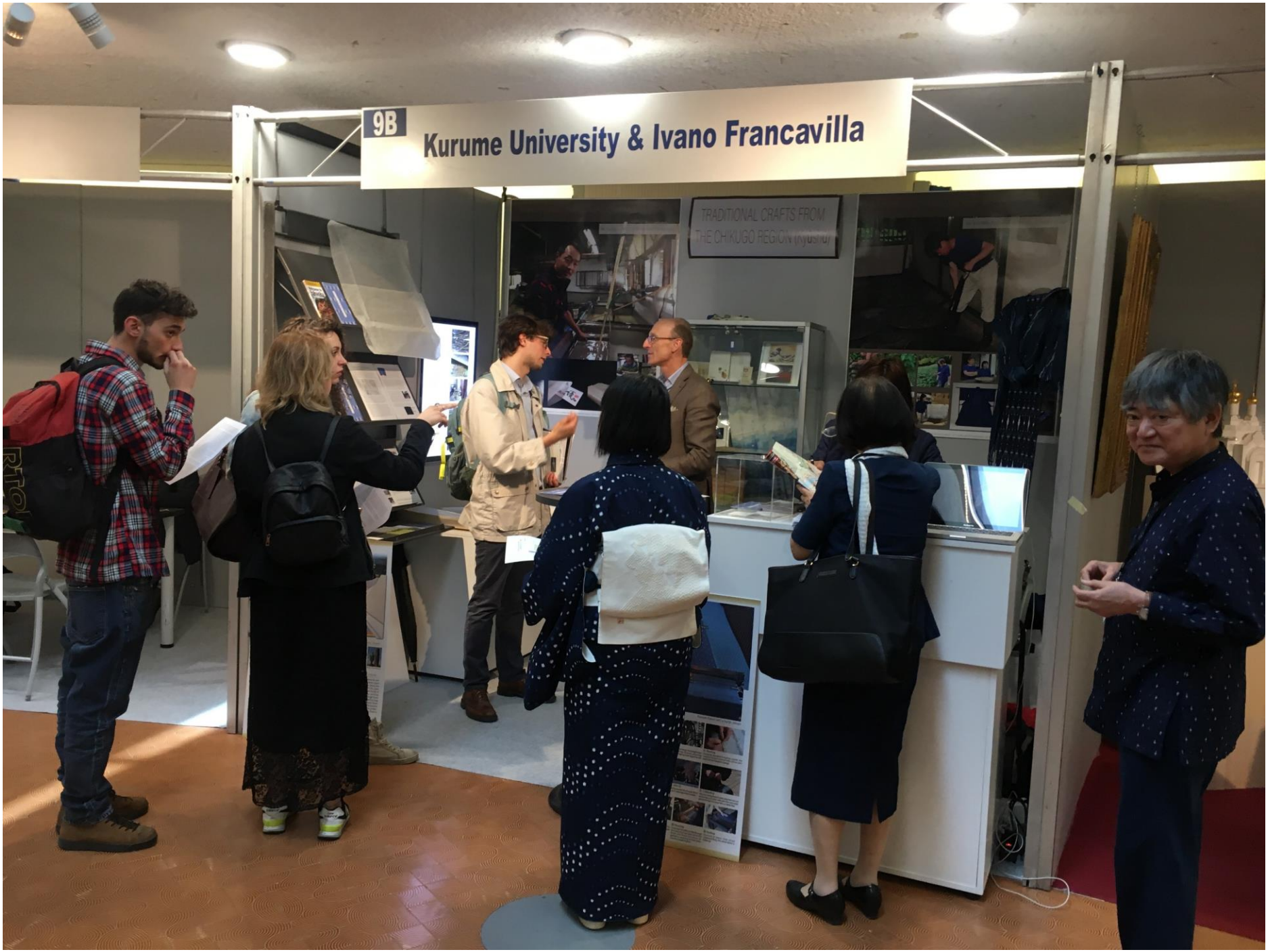
Villa Vittoria, Palazzo dei Congressi-Florence

16 - 18 MAY 2018

www.florenceheritech.com


9B
Kurume University & Ivano Francavilla
TRADITIONAL CRAFTS FROM
THE CHIKU REGION (Kyūshū)
久留米大学
KURUME UNIVERSITY

Welcome to Fukuoka


9B
Kurume University & Ivano Francavilla
TRADITIONAL CRAFTS FROM

久留米大学 比較文化研究所 文化財保存科学研究部会
2018 年イタリア事業報告会

国際交流基金助成 イタリア レクチャー・デモンストレーション・ワークショップ事業

“筑後の伝統工芸”を終えて

Traditional crafts in *Chikugo*, Japan

日　時：６月２日(土)15:00 ～ 17:00

場　所：久留米大学　学生会館3階 ミーティングルーム3

去る５月15日~５月18日、イタリア　ローマ日本文化会館での八女手漉き和紙と久留米絣の実演とトーク、また、フィレンツェ サローネデルアルテで開催された修復学会関連ブースでの展示とトークを通し、これまでの研究部会の研究報告、筑後の伝統工芸の紹介をしてまいりました。事業に参加した会員による報告会をいたします。

久留米大学 比較文化研究所 文化財保存科学研究部会
2018 年イタリア事業報告会

JAPAN FOUNDATION 国際交流基金助成事業 イタリア レクチャー・デモンストレーション・ワークショップ

“筑後の伝統工芸”を終えて

Traditional crafts in *Chikugo*, Japan

日　時: 7 月 7 日(土) 15 : 00 ～ 17 : 00

場　所: 八女伝統工芸館　福岡県八女市本町 2-123-2

去る 5 月 15 日、イタリアのローマ日本文化会館において八女伝統工芸館の英語パネル展示、八女手漉き和紙と久留米絣の DVD 上映、実演とトークを実施しました。また、5 月 16～18 日フ

2018 年 12 月 5 日

2018 年 5 月イタリア事業報告会

久留米大学比較文化研究所
文化財保存科学研究部会

部会長 原口 雅浩

ご 案 内

今年も残すところあとわずかとなりました。皆様ご健勝のことと存じます。

さて、皆様の温かいご支援を受けて実現できました文化財保存科学研究部会 2018 年 5 月イタリア事業の最終報告会を下記のとおり開催いたします。終了後に懇親会も予定しております。ご多用の折とは存じますが、奮ってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

日時： 2018 年 12 月 19 日（水）15:00-1700
場所： 久留米大学御井本館８階 スカイラウンジＡ
次第： 15:00 開会 （狩野）
部会長挨拶 （原口）
15:05 来賓挨拶 （ご来賓）
15:20 報告 （矢野）

公開講座

筑後地方に産する八女和紙，久留米飛白，藍染技術のアピールとその応用成果を紹介

演　題	講　師	開催日	会場
日本の伝統工芸も継承と活用	九州国立博物館　元館長 三輪　嘉六	9月25日（火）	福岡サテライト
筑後の伝統工芸のさまざま	久留米大学文学部　准教授 大庭　卓也	10月 2日（火）	
「筑後工芸品月間」福岡大会参加に向けて―八女提灯	久留米大学文学部　講師 矢毛　達之	10月 9日（火）	
伝統工芸と柔軟性－久留米絣をテーマにした楽曲・映像作成の記録	久留米大学文学部　講師 神本　秀爾	10月16日（火）	
ドイツの伝統工芸を見習う―筑後の伝統工芸継承のために	久留米大学文学部　准教授 大場　はるか	10月23日（火）	

文化財保存研究部会Webサイト

久留米大学
文化財保存科学研究部会

▸お問合せ

- Home
- 活動
- 歴史
- 公開講座
- 筑後優品
- 産学連携

Contact

〒839-8502
福岡県久留米市御井町1635

お問い合わせはこちら

Link

久留米大学

はじめに

文化財保存科学研究部会の特色は、文化財保存を科学的に研究することと
筑後地域の伝統工芸を結びつけた点にあります。
開設時の2007年から、医学部教員も部会員に登録して共同研究を進めており、
文理融合の研究体制が自然に生まれていました。
研究活動のテーマは、大きく5つに分けられます。1～5のテーマは、さらに細分化されて発展してきました。

1．八女手漉き和紙研究

2．久留米絣・藍染め研究

3．クララ研究

4．クールジャパンの活動

5．九州国立博物館との連携

PAGE TOP

KOUGEI EXPO（2018年11月2日—4日）

マリンメッセ福岡（福岡市）で開催された伝統的工芸品の全国大会「KOUGEI EXPO」に，本学学生がデザイン制作に関わった八女提灯を展示。